

地域監査プログラムガイド

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

© 2013, 2020 Intellectual Reserve, Inc.
限定品（教会の一般会員および公には配付されない）
All rights reserved.
バージョン：2019年10月
原題：Guide to the Area Audit Program
Japanese
10873 300
印刷：アメリカ合衆国

目次

はじめに..... 1

地域監査プログラム.....	1
本ガイドで使用されている用語.....	1
訓練と資料.....	1
本ガイドの配付先.....	1

地域監査委員会..... 2

地域監査委員会の構成.....	2
地域監査委員会の責任.....	2
地域監査委員会との関係.....	2

地域監査員..... 3

地域監査員の条件.....	3
地域監査員の責任.....	3
月間職務報告書を提出する.....	3
月例地域監査委員会の調整を行う.....	3
監査と財政の情報を分析する.....	4
地域監査員補佐を訓練する.....	4
地域監査員補佐の働きを把握し監督する.....	4
地域監査員補佐の召しと解任に協力する.....	5
予算情報を報告する.....	5
割り当てに応じて、調査のための監査を実施する.....	5
地域監査員との関係.....	5

地域監査員補佐..... 6

地域監査員補佐の条件.....	6
地域監査員補佐の責任.....	6
必要な訓練を特定して年次訓練を行う.....	6
新たに召されたステーク会長会を訓練する.....	6
実施されていない監査のフォローアップを行う.....	6
監査を確認し、監査指摘事項についてフォローアップを行う.....	6
各ステークで監査委員会が確実に機能するようにする.....	7
教会基金の紛失、盗難、不適切な支出、不正使用を報告する.....	7
監査と財政の情報について地域七十人と密接に協力する.....	7
月間職務報告書を提出する.....	7
LUFASのユーザーをサポートする.....	7
割り当てに応じて、調査のための監査を実施する.....	7
地域監査員補佐との関係.....	7

地域七十人..... 8

地域七十人の責任.....	8
地域監査員補佐を推薦し、召し、解任する.....	8
地域監査員補佐と情報交換をする.....	8
地域監査員と地域監査員補佐をサポートする.....	8
地域七十人との関係.....	8

はじめに

地域監査プログラム

教会基金は神聖であり、会計報告は注意深く行う必要があります。財政監査を行うことによって、基金の不正使用を未然に防ぎ、神権指導者と書記に教会基金に対する責任について報告する機会を与えることができます。

教会財政監査は、神権の指示の下に実施されます。教会の地域ごとに、地域会長会は、地域監査委員長、地域監査員、そのほか本ガイドに後述される人で構成される地域監査委員会を組織します。地域監査員補佐は、地域内の各調整評議会ごとに召されます。

地域監査委員会、地域監査員、地域監査員補佐および地域七十人は、地域監査プログラムに従って、神権指導者を強め、彼らが教会の神聖な基金を守ることができるよう支援し、基金が適切に使われていることを確認します。また、神権指導者、書記、ステーク監査委員会およびステーク監査員が、教会の監査と財政の方針に関して適切な訓練を確実に受けられるように調整します。

このガイドは、地域監査委員会、地域監査員、地域監査員補佐および地域七十人の役割と責任について概説したものです。本ガイドで説明されている原則、方針、役割および責任が、地域監査プログラムを構成しています。

本ガイドで使用されている用語

管理運営面で、本ガイドの中の「ビショップ」と「ビショップリック」は、「支部会長」と「支部会長会」にも当てはまります。また、「ステーク会長」と「ステーク会長会」は、「地方部会長」と「地方部会長会」にも当てはまります。支部が伝道部の直接管理下にある場合、「ステーク会長」および「ステーク会長会」は、「伝道部会長」および「伝道部会長会」に当てはまります。ワードに関する事柄は、伝道部の直接管理下にある支部を含め、支部にも当てはまります。ステークに関する事柄は、地方部にも当てはまり、場合によっては伝道部にも当てはまります。

「神権指導者」とは、ビショップリック、支部会長会、ステーク会長会、伝道部会長会、地方部会長会を指します。「書記」とは、

ステーク書記、ワード書記、地方部書記、支部書記、および財政記録作成の割り当てを受けている書記補佐を指します。

「コントローラー」とは、アメリカ合衆国とカナダの地域では、教会コントローラーを指します。アメリカ合衆国とカナダ以外の地域では、地域コントローラーを指します。教会監査部や福祉と自立支援サービスなど、教会本部の各部門に関する記述は、別途記載のない限り、アメリカ合衆国とカナダの各地域に該当します。地域管理本部や地域福祉委員会あるいは地域コントローラーといった地域レベルの組織や職員に関する記述は、アメリカ合衆国とカナダ以外の各地域に該当します。

「教会財政代表者」とは、（1）中央レベルまたは地域レベルでステークとワードの基金を監督し、（2）ステークとワードの基金に関する情報を地域監査委員会、地域監査員、地域監査員補佐に提供することを認められている教会本部の職員または地域を管轄する管理事務所の職員を指します。

訓練と資料

地域監査プログラムに関する訓練と資料は、Church of Jesus Christ.orgの「ヘルプセンター」や、aarl.Church of Jesus Christ.orgにある「地域監査資料ライブラリ（略称AARL）」で見ることができます。地域監査委員会の構成員、地域監査員、地域監査員補佐および地域七十人は、教会アカウントのユーザー名とパスワードを使ってサインインすることができます。

本ガイドの配付先

『地域監査プログラム』の配布先は以下のとおりです。

- 地域監査委員長
- 地域七十人
- 地域監査委員会の構成員
- 地域監査員補佐

地域監査委員会

地域監査委員会は、地域会長会からのサポートと指示を地域監査プログラムに提供します。この委員会は、地域監査員と地域全域の地域監査員補佐の業務を調整する場となります。

地域監査委員会の構成

地域監査委員会の委員長は、地域会長会の一員です。地域監査委員会は、委員長、実務ディレクター、コントローラーおよび地域監査員で構成されます。教会財政代表者は、地域のステークやワードの財政に関する情報を提供するために、必要に応じて、この委員会に招へいされる場合があります。

地域監査委員会の責任

地域監査委員会は、地域内の教会監査について地域会長会から指示を受け、情報を交換します。

地域監査委員会は、宣教師管理部、教会監査部と協力して、地域監査員の召しと解任を行います。地域監査委員会は、地域監査員が教会監査部から確実に訓練を受けられるように調整します。

地域監査委員長は、推薦された地域監査員と地域監査員補佐の召しと解任について検討し、承認を与えます。委員会は、地域監査員補佐が適切な訓練を確実に受けられるように調整します。委員会はまた、地域七十人と地域監査員補佐との間でしっかりとした協力関係が築けるよう支援します。

地域監査委員会は、地域監査員補佐が新しいステーク会長会に対して、教会の監査と財政の方針に関する訓練を速やかに行っていることを確認します。委員会は、地域内のステークに必要な訓練について評価し、地域監査員補佐が各ステークの必要に応じて訓練を施していることを確認します。

地域監査委員会は、以下の事項を確認することによって、ステーク監査委員会の機能を評価し、改善を図ります。

1. 監査報告書が期限までに提出されている。
2. 監査が正確に漏れなく行われている。
3. すべての監査指摘事項が速やかに解決されている。

地域監査委員会は、地域内のワードやステークにおいて、教会基金の横領や不正使用のリスクが増大している可能性を示す重要な因子を特定します。このリスク因子には、教会基金（断食

献金を含む）の不適切な支出、献金の紛失、そのほか監査や訓練上の課題が含まれます。これらのリスク因子を用いて、委員会は、教会基金の横領や不正使用のリスクが増大している可能性のあるワードやステークを特定し、そのリスクを減らす方法を決定します。必要に応じて、地域監査委員会は、教会基金の横領や不正使用のリスクが増大しているワードやステークについて、追加の訓練や経過観察、あるいは監査を要請することができます。

地域監査委員会は毎月会合を持ちます。委員会では、監査の結果や地域監査員補佐との面接に基づいて、ワードやステークの指導者が財政の方針や手続きを十分に理解しているかどうか話し合います。さらに、教会基金（断食献金を含む）の横領やそのほかの不適切な支出、献金の紛失、未解決の監査指摘事項や訓練上の課題についても話し合います。

地域監査委員会は、地域監査員のために事務スペースを用意します。委員会はまた、以下の予算を提供します。（1）地域監査員の責任に関連する備品費、旅費、電話代、資料代、そのほかの経費。（2）地域監査員補佐の責任に関連する旅費や雑費。これらの経費は、教会監査部か地域管理本部から支払われます。

地域監査委員会との関係

地域監査委員会は、地域会長会に報告し、また彼らから割り当てを受けます。委員会の構成員は、必要に応じて、教会の各部門や地域管理本部の部課長と連絡を取って情報を入手します。また、必要に応じて、地域七十人やステーク会長、地域監査員補佐と連絡を取って情報を共有し、指示を出します。

地域監査員

地域監査員は、地域監査委員会の重要な構成員です。地域監査員は、地域監査プログラムの日常的な業務や管理運営に責任を持ちます。

地域監査員は、責任を遂行するとき、地域会長会を代表します。地域監査員は、地域監査委員長に報告し、委員長から割り当てや指示を受けます。また、教会監査部から訓練と指示を受けます。

地域監査員の責任を受ける人は、ステークやワードのほかの召しから解任される必要があります。

地域監査員の条件

地域監査員は、管理運営や訓練、コミュニケーションを行う能力にたけていて、現在有効な神殿推薦状を保持している人です。また、教会における指導者の召しに通じていて、過去にそうした召しで奉仕をした経験があります。自分の仕事や教会での指導者の責任、あるいはそのほかの経験を通じて、財政に関する専門知識を持っています。

地域監査員は、地域会長会の指示の下に地域監査プログラムを管理運営することができる人で、集会の準備や司会、集会への参加に熟達しています。ワードやステークレベルで監査が必要な理由を理解し、それを人に理解させることができます。また、教会の監査の方法を理解し、そのプロセスを人に訓練できます。また、地域レベルの財政や監査の問題点について理解し、意見交換を行うことができます。

地域監査員は、地域全域にわたって足を運ぶことができる人で、地域監査委員会の集会に出席し、夜間や週末に訓練を施すようにスケジュールを組むことができます。基本的なコンピューター操作能力があり、携帯用コンピューターを所有し、インターネットにアクセスできる必要があります。

地域監査員の責任

月間職務報告書を提出する

地域監査員は、毎月、地域監査委員長と教会監査部に対して報告をします。この報告書には、地域監査委員会から依頼のあった情報を記載する必要があります。

月例地域監査委員会の調整を行う

地域監査委員長の指示の下に、地域監査員は毎月地域監査委員会の開催スケジュールを組み、アジェンダと議事録を作成します。また、必要に応じて、委員会のほかの構成員と調整をします。

地域監査員は、該当する場合、以下のテーマについて、毎月報告します。

1. 監査指摘事項：地域監査員は、完了した改善措置について、また未解決の監査指摘事項のあるステークに対して行ったフォローアップの概要を報告します。また、監査期間中に顕著な監査指摘事項について概要を報告します。
2. 訓練：地域監査員は、地域内のステークやワードにどのような訓練が必要か特定します。必要な訓練は、以下の方法によって判断します。

- 地域監査員補佐と連絡を取り、彼らの月間職務報告書について検討する。
- 「地元ユニット財政監査システム」（LUFAS）の報告書について検討し、さらに該当する場合は、「教会ユニット財政サービス」（CUBS）または「指導者と書記のためのリソース」（LCR）のいずれかのシステムの報告書について検討する。
- ステークとワードの財政と監査の課題について、コントローラーおよび教会財政代表者と話し合う。
- 新しく召されたステーク会長会や新しいステーク監査委員長を特定する。

委員会は、ステークやワードの全般的な訓練の必要性について、また過去に行った訓練や今後行う必要のある訓練について話し合います。

3. 提出済みの監査と実施されていない監査：地域監査員は、ステークとワードの提出済みの監査と実施されていない監査の数を調整評議会別にまとめます。また、実施されていない監査のあるステークに対して行ったフォローアップの概要を報告します。委員会は、これらのステークに監査の提出を促すために具体的に何ができるか、話し合います。
4. 重要なリスク：地域監査員は、地域監査員補佐によって指摘された未解決の重要なリスクと、その解決のために講じられた措置の概要を報告します。地域監査員は、基金の横領や不正使用のおそれのある地元ユニットを特定します。
5. 地域監査員補佐：地域監査員は、地域監査員補佐の業務の質について概要を報告します。また、地域監査員補佐への訓練や指導について報告します。また、地域監査員補佐の召しや解任について、推薦します。
6. 職務報告書：地域監査員は、地域監査員補佐から提出された月間職務報告書の情報について、その概要を報告します。

7. 裏付けのない不適切な支出：地域監査員は、裏付けのない不適切な支出について報告します。地域監査員は、フォローアップの訓練計画について委員会の承認を得て、必要に応じて、該当する地域監査員補佐および地域七十人にその計画を説明します。

地域監査員は、以下を行うことにより、不適切な支出を特定します。

- 監査指摘事項を再検討する。
 - 折に触れて監査を行う。
 - 報告書やデータの提出を求める。
 - コントローラーや教会財政代表者から報告書やデータの提出を求める。
 - LUFASの報告書、および該当する場合、CUBSまたはLCRの報告書に目を通す。
 - 断食献金からの不適切な支出について、権限を与えられた福祉と自立支援サービスの職員、または地域福祉委員会の委員長と話し合う。
8. 未送金の入金：地域監査員は、未送金の入金について報告します。地域監査員は、フォローアップの訓練計画について委員会の承認を得て、必要に応じて、該当する地域監査員補佐および地域七十人にその計画を説明します。

地域監査員は、以下を行うことにより、未送金の入金を特定します。

- コントローラーや教会財政代表者から報告書やデータの提出を求める。
- 該当する場合、CUBSまたはLCRの報告書に目を通す。

監査と財政の情報を分析する

地域監査員は地域監査補佐の助けを借りて、ワードとステーキの監査と財政の情報を分析し、繰り返し報告される監査指摘事項や、記録または承認のない支出、未送金の入金、不適切な支出といった問題または矛盾点を見つけます。

地域監査員は、コントローラーや教会財政代表者に依頼して、調整評議会、ステーキ、ワードの一部または全部に具体的な訓練を施す必要があるような、財政管理や支出に関する問題を特定してもらいます。

地域監査員は、福祉と自立支援サービスの職員または地域福祉委員会に依頼して、調整評議会、ステーキ、ワードの一部または全部に具体的な訓練を施す必要があるような、断食献金に関する問題を特定してもらいます。

地域監査員は、このようにして見つかったすべての問題点が地域監査委員会で話し合われるようにします。地域監査委員会は、必要に応じて、調整評議会、ステーキ、ワードを訓練するための計画を作成します。

地域監査員補佐を訓練する

地域監査員は、教会の監査と財政の方針や手続きに関して地域監査員補佐を訓練します。また、新しく召された地域監査員補佐に必要な訓練資料を提供し、以下の項目について訓練します。

- 教会財政記録の作成と監査、および教会基金の保全の大切さ
- 地域監査プログラム
- 教会の監査と財政の方針や手続きについて、神権指導者と書記、ステーキ監査委員会、ステーキ監査員を訓練する責任
- 実施されていない監査と監査指摘事項の解決についてフォローアップすることの必要性
- 監査のフォームと手順
- LUFAS, CDOL, およびArea Audit Resource Library（「地域監査リソースライブラリー（AARL）」）
- 訓練資料と訓練技術
- 職務報告書

地域監査員は、地域監査員補佐全員を定期的に訓練するためのスケジュールを組み、それを教会監査部に通知します。地域監査委員会の承認を受けた場合、地域監査員は訓練の支援を教会監査部に要請することができます。地域監査員は、必要に応じて、地域監査員補佐の責任と地元の財政や監査の課題について、具体的な追加訓練を地域監査員補佐に施します。また、地域監査員補佐たちが協力し合い、経験を分かち合えるような機会を提供します。

地域監査員補佐の働きを把握し監督する

地域監査員は、地域監査員補佐がLUFASとCDOLにアクセスして、その使い方を理解できるようにします。また、地域監査員補佐が教会アカウントを持てるようにし、新たに召された地域監査員補佐をCDOLに登録します。

地域監査員は、各地域監査員補佐が、担当する調整評議会の中で新しく召されたステーキ会長会を特定し、召してから60日以内に財政と監査に関する訓練を施すために、スケジュールを組めるようにします。地域監査員は、その訓練の内容を地域監査委員会に報告します。

地域監査員は、地域監査員補佐が各ステーキに少なくとも年に1回は訓練を施せるようにします。地域監査員は、ステーキ訓練の予定日と実施日について地域監査委員会に報告します。

地域監査員は、次回の監査とそれに対応して開かれるステーキ監査委員会やステーキ監査員訓練集会について、ステーキに連絡するよう地域監査員補佐に伝えます。地域監査員は地域監査員補佐と協力して、ステーキとワードの監査が期限までに提出されるようにします。地域監査員は、実施されていない監査のあるユニットを特定し、地域監査員補佐と連絡をとって、ステーキの指導者がそれらの監査を提出できるようにフォローアップしてもらいます。地域監査員は、必要に応じて、また地域監査委員会が設定したフォローアップの方針に従って、実施されていない監査のあるステーキに対する支援を地域七十人に要請することができます。

地域監査員は、LUFASの報告書に基づいて、未解決の監査指摘事項を特定し、地域監査員補佐と協力して、それらが効率よく速やかに解決されるようにします。地域監査員は、必要に応じて、また地域監査委員会が設定したフォローアップの方針に従って、未解決の監査指摘事項のあるステーキに対する支援を地域七十人に要請することができます。地域監査員は、解決した監査指摘事項がLUFASに記録されるよう、地域監査員補佐にフォローアップします。地域監査員は、解決した監査指摘事項をLUFASで確認し、その状況を地域監査委員会に報告します。

地域監査員は地域監査員補佐に依頼して、LUFASにあるステーキ監査関係者のリストを検討し、以下のことを確認してもらいます。(1) 各ステーキにステーキ監査委員会の委員長と委員、ステーキ監査員の氏名が正しく記載され、(2) これらの召しに利害の対立がない。

地域監査員は、各地域監査員補佐と定期的に連絡を取る必要があります。

地域監査員補佐の召しと解任に協力する

地域監査員または地域七十人は、新しい地域監査員補佐を召す必要がある時期を決定します。地域監査員は変更する事柄に関して地域監査委員長から承認を得ます。地域監査員は、調整評議会内のステーキからふさわしい神権者を推薦するよう、地域七十人に依頼します。ふさわしい神権者が見つからず、地域会長会から承認を受けた場合、地域監査員は宣教師管理部および教会監査部と協力して、一組の夫婦宣教師にその責任を与えます。

地域七十人から推薦を受理した後、地域監査員はその推薦について、地域監査委員長から承認を得ます。地域監査員は解任と召しの手紙を作成して地域七十人に送ります。地域七十人が、地域会長会に代わって解任と召しを伝え、それから新たに召された地域監査員補佐を任命します。夫婦宣教師の場合、宣教師管理部の指示の下に召され、任命されます。

地域監査員は、解任と召しの手紙が、遅滞なく神権指導者と地域監査員補佐に送られるようにします。地域監査員は、夫婦宣教師を含む地域監査員補佐の奉仕状況を把握し、その奉仕内容を記録します。また、各地域監査員補佐の召しと任命の日付、奉仕可能な期間などについて記録します。

予算情報を報告する

地域監査員は、教会監査部または地域管理本部が提供する予算を分析し、自分と地域監査員補佐の交通費などの認可された費用を賄えるようにします。また、予算金額および当会計年度の現在までの支出、予算残高を、必要に応じて監査委員会に報告します。

割り当てに応じて、調査のための監査を実施する

教会監査部または地域コントローラーは、地域監査員に割り当てを与えて、調査のための監査を実施することがあります。地域監査員は、そのような監査の結果を、割り当てを与えた担当者や組織に報告し、調査については内密にします。

地域監査員との関係

地域監査員は、地域監査委員会の構成員、教会コントローラーまたは教会財政代表者、および福祉と自立支援サービスの職員または地域福祉委員会と連絡を取り合い、密接に協力して働きます。地域監査員が、教会コントローラーまたは教会財政代表者と密接な協力関係を築くことは、非常に大切です。彼らは地域監査員に重要な財政情報を提供し、管理上の問題や支出に関する問題を特定するのを助けることができます。

地域監査員は、地域監査員補佐と定期的に連絡を取り、彼らを監督します。また、教会監査部と連絡を取り、密接に協力します。地域監査員は、必要に応じて、地域七十人と連絡を取ります。

地域監査員補佐

地域監査員補佐は、地域監査プログラムの成功に欠かせない存在です。地域監査員補佐の責任は、神権指導者、書記、ステーク監査委員会およびステーク監査員に、監査と財政の方針や手続きについて、訓練を提供することにあります。また、ステークが監査を漏れなく完全に行って期限内に提出し、監査で発見された指摘事項をすべて解決できるようにすることです。地域監査員補佐には、通常一つの調整評議会が割り当てられます。

地域監査員補佐は、その責任を果たす際に地域会長会を代表します。また、地域監査員に報告を行い、地域監査員から割り当てと指示と訓練を受けます。

地域監査員補佐の責任を受ける人は、通常、ステークやワードのほかの召しから解任される必要があります。

地域監査員補佐の条件

地域監査員補佐は、現在有効な神殿推薦状を保持している人です。また、教会における指導者の召しに通じていて、できれば、過去にそうした召しで奉仕をした経験があります。財政と監査の専門知識があれば、助けになります。

地域監査員補佐は、コミュニケーション能力にたけていて、神権指導者、書記、ステーク監査委員会およびステーク書記を訓練できる人です。また、夜や週末に訓練を施す柔軟性があり、調整評議会の全域に足を運ぶことができます。

地域監査員補佐はコンピューターの基本的な操作能力があり、ノートパソコンを持っており、インターネットに接続できる環境になければなりません。

地域監査員補佐の責任

必要な訓練を特定して年次訓練を行う

地域監査員補佐は、担当する調整評議会の各ステークに対して、少なくとも年1回、訓練集会を開催します。地域監査員補佐は、訓練集会の予定日と実施日を地域監査員に報告します。

地域監査員補佐は以下の方法で、各ステークにどのような訓練が必要か判断します。

- 監査結果を検討する。
- 未解決の監査指摘事項または繰り返し指摘される監査指摘事項を確認する。
- 「地元ユニット財政監査システム」(LUFAS)の報告書と情報を検討する。

- 監査と財政の問題について、神権指導者と書記、ステーク監査委員会、ステーク監査員と話し合う。
- 地域監査員と連絡を取る。
- 新たに召された神権指導者を特定する。

地域監査員補佐は、神権指導者や書記、ステーク監査委員会、ステーク監査員に対して、教会の監査と財政の方針や手続きについて、また、地元の財政や監査の問題点について、訓練を施します。その際、「地域監査リソースライブラリー (aarl.ChurchofJesusChrist.org)」と「ヘルプセンター」から提供される訓練資料を活用します。

年次訓練では、神権指導者と書記、ステーク監査委員会、ステーク監査員が協力し合い、経験を分かち合う機会を提供します。

新たに召されたステーク会長会を訓練する

地域監査員補佐は、新たに召されたステーク会長会に対して、財政と監査の責任について、召されてから60日以内に訓練を施します。その際、「地域監査リソースライブラリー」と「ヘルプセンター」から入手した資料を訓練に利用します。この訓練について地域七十人と調整します。

地域監査員補佐は、新たに召されたステーク会長会の氏名を地域七十人、地域監査員、または「教会組織・指導者住所録」(CDOL)から入手することができます。地域監査員補佐は、この訓練が完了したら、職務報告書で地域監査員に報告します。

実施されていない監査のフォローアップを行う

地域監査員補佐は、ステーク監査委員長に対して、監査を期限までに提出するように励まします。提出期限は教会監査によって定められており、LUFASに掲載されています。地域監査員補佐は、電話や電子メールを利用して、必要に応じてできるだけ頻繁に、期限までに提出しなかったステークと連絡を取ります。必要に応じて、また地域監査委員会が定めたフォローアップの方針に従って、地域監査員補佐は、監査報告書を提出していないステークに対する支援を地域七十人に要請します。

監査を確認し、監査指摘事項についてフォローアップを行う

地域監査員補佐は、すべての監査が正確に漏れなく行われたことを確認します。また、ステーク監査委員会に対して、ステークで行われた監査に速やかに目を通すよう伝えます。また、ステーク監査委員会と協力して、必要に応じて、提出された監査に修正を加えます。地域監査員補佐は、書面で行われた監査の指摘事項をLUFASに入力します。

地域監査員補佐は、すべての監査指摘事項を効率的かつ速やかに解決するよう、ステーキ監査委員長を励まします。また、未解決の監査指摘事項を特定するために、LUFASの報告書を活用し、またステーキ監査委員会と直接連絡を取ります。そして、監査指摘事項の解決状況を地域監査員と地域七十人に報告します。必要に応じて、また地域監査委員会が定めたフォローアップの方針に従って、地域監査員補佐は、監査指摘事項が未解決のステーキに対する支援を地域七十人に要請します。

各ステーキで監査委員会が確実に機能するようにする
地域監査員補佐は、各ステーキの監査委員長と協力して、委員会が組織され、その責任を果たしていることを確認します。地域監査員補佐は、ステーキ監査委員会に対して、ふさわしい献身的な監査員を召すよう働きかけます。地域監査員補佐は、LUFASに掲載されている、ステーキの監査関係者のリストに目を通して、以下のことを確認します。(1) 調整評議会内のすべてのステーキで、ステーキ監査委員会の委員長と委員、ステーキ監査員の氏名が適切に記載され、(2) これらの召しに利害の対立がない。

地域監査員補佐は、ステーキ監査委員会に対して、集会を毎年6回（「ヘルプセンター」にある資料『ステーキ監査委員会』に指摘されているように、年末監査のために3回、中間監査のために3回）開くように勧めます。

地域監査員補佐は、必要に応じて、調整評議会内のステーキ会長と連絡を取り、監査委員会の会合を開くよう勧め、監査の提出期限を伝えます。また、ステーキの書記や財政担当書記補佐をステーキ監査委員会の会合に招くよう、ステーキ監査委員長に働きかけます。

教会基金の紛失、盗難、不適切な支出、不正使用を報告する

教会基金の紛失、盗難、不適切な支出（断食献金からの支出を含む）、不正使用が見つかった場合、地域監査員補佐は、地域監査員および、教会監査部または地域コントローラーのいずれかに通知します。

監査と財政の情報について地域七十人と密接に協力する

地域監査員補佐は、地域七十人と定期的に会合を持ち、助言や割り当てを受けます。地域監査員補佐は、要請に応じて、調整評議会内のステーキとワードの監査と財政の情報を分析し、その結果を地域七十人に報告します。地域監査員補佐は、地域七十人から要請された場合、調整評議会の会合に出席します。

地域監査員補佐は、調整評議会内の監査または財政の困難な問題について、地域七十人に支援を要請することができます。

月間職務報告書を提出する

地域監査員補佐は、担当する調整評議会に関する月間職務報告書を作成して地域監査員に送付し、写しを地域七十人に送ります。この報告書には、地域監査委員会から依頼のあった情報を記載する必要があります。

LUFASのユーザーをサポートする

地域監査員補佐は、ステーキがLUFASへのアクセスや署名、報告、そのほかの問題を解決できるよう助けます。

割り当てに応じて、調査のための監査を実施する

教会監査部または地域コントローラーが、地域監査員補佐に対して、調査のための監査を実施するよう割り当てる場合があります。地域監査員補佐は、割り当てを与えた担当者か組織にその監査の結果を報告し、調査については内密にします。

地域監査員補佐との関係

地域監査員補佐は、地域監査員に報告し、地域監査員と定期的に連絡を取り、地域監査員から訓練を受けます。また、監査と財政の問題について、地域七十人と定期的に連絡を取り、密接に協力します。また、ステーキ会長、ステーキ監査委員長、そしてステーキ監査委員会の構成員が、監査と財政の責任を果たす際に、彼らと連絡を取ります。

地域七十人

地域七十人は、地域監査プログラムの成功に欠かせない存在です。地域七十人は、地域監査員補佐と協力して、ステーク会長が神聖な教会基金を守り、神権指導者と書記を強め、守るという責任を果たせるよう、サポートします。地域七十人は、地域監査員補佐との間に強固な協力関係を築く必要があります。

地域七十人の責任

地域監査員補佐を推薦し、召し、解任する

地域監査員または地域七十人は、新しい地域監査員補佐を召す必要がある時期を決定します。地域監査員は変更する事柄に関して地域監査委員長から承認を得ます。地域監査員は、調整評議会内のステークからふさわしい神権者を推薦するよう、地域七十人に依頼します。ふさわしい神権者が見つからない場合、地域会長会の承認の下に、地域監査員は宣教師管理部と協力して、一組の夫婦宣教師にその責任を与えます。

地域七十人から推薦を受理した後、地域監査員はその推薦について、地域監査委員長から承認を得ます。地域監査員は解任と召しの手紙を作成して地域七十人に送ります。地域七十人が、地域会長会に代わって解任と召しを伝え、それから新たに召された地域監査員補佐を任命します。夫婦宣教師の場合、宣教師管理部の指示の下に召され、任命されます。

地域監査員は、新たに召された地域監査員補佐を訓練します。

地域監査員補佐と情報交換をする

地域七十人は、地域監査員補佐と定期的に会合を持ち、助言や割り当てを与えます。地域七十人は、調整評議会内のステークとワードの監査と財政の情報を分析して、その結果を報告するよう、地域監査員補佐に要請することができます。また、調整評議会の会合に出席するよう、地域監査員補佐を招待することができます。

地域監査員補佐は、月間職務報告書を地域監査員に送付し、その写しを地域七十人に送ります。この報告書には、地域監査員補佐が調整評議会内で行った監査や訓練の概要が記載されます。

地域監査員と地域監査員補佐をサポートする

地域監査員補佐は、調整評議会内の監査または財政の問題について、地域七十人に支援を要請することができます。

地域監査員補佐は、各ステークに毎年訓練を施すことになっています。地域監査員補佐は、ステークの指導者にその時間を確保するよう働きかけるときに、地域七十人のサポートを必要とする場合があります。地域監査員補佐は、新しく召されたステーク会長会に対して、教会監査や財政方針について訓練をすることになっています。地域七十人は、新しく召されたステーク会長の氏名と連絡先の情報を、地域監査員補佐に伝えることができます。

必要に応じて、地域監査委員会が定めたフォローアップの方針に従って、地域監査員または地域監査員補佐は、実施されていない監査や未解決の監査指摘事項のあるステークをフォローアップする際に、地域七十人に援助を要請することができます。地域監査員補佐は、監査を漏れなく行うよう働きかける際に、地域七十人に援助を求めることができます。

地域七十人との関係

地域七十人は、必要に応じて、地域監査委員長と情報を交換して共有し、指示を受けます。地域七十人は、必要に応じて、地域監査員と連絡を取ります。地域七十人は、監査と財政の問題について地域監査員補佐と定期的に連絡を取り、密接に協力します。

